

総合大雄会病院・大雄会第一病院で治療を受けられた患者さまへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

研究課題名 (研究番号)	超緊急帝王切開の術後鎮痛における腹横筋膜面ブロックの効果についての後方視的比較
当院の研究責任者 (所属)	酒井 規広 (総合大雄会病院 麻酔科)
調査データ該当期間	2012年1月から2024年10月まで
本研究の目的	超緊急帝王切開術の術後の疼痛緩和に、腹壁への神経ブロックを行うことが有用であるかどうかについて、診療情報から後方視的に比較検討します
研究の方法 (使用する試料等)	●対象となる患者さま 上記期間内に当院産科で帝王切開手術を受けられた方 ●利用する情報 診療記録に記載のある診療記録、検査データを利用します。 性別、年齢、身長、体重、手術記録、麻酔記録、術後の診療記録など。
試料/情報の他の 研究機関への提供 および提供方法	他の研究機関には提供しません
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません
お問い合わせ先	総合大雄会病院麻酔科 酒井規広(TEL:0586-72-1211)